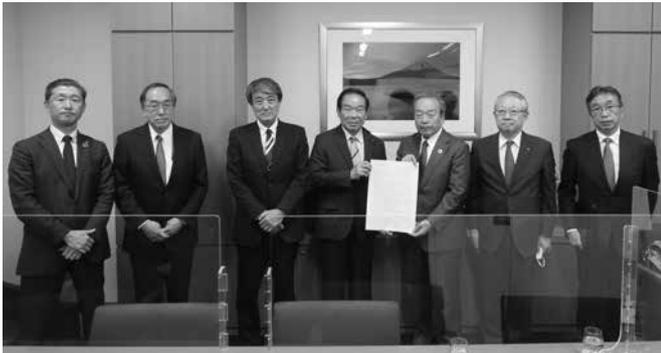




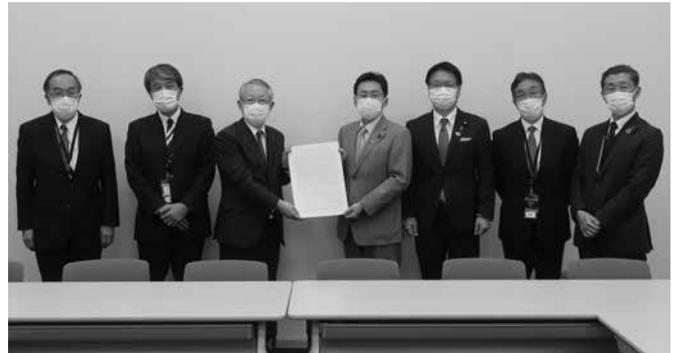
齊藤国交大臣（テーブル中央）に要請する「考える会」メンバー。奥左から福田座長、坂口氏、金子氏。手前左から桑山氏、横山氏、赤間氏、山岡専務理事



鈴木財務大臣（テーブル中央）に要請する「考える会」メンバー。左奥側から桑山氏、横山氏、金子氏。右奥側から内山田会議所会長、坂口氏、山岡専務理事



額賀自動車議連会長に要望書を手渡す「考える会」メンバー。左から金子氏、横山氏、桑山氏、額賀会長、内山田会議所会長、坂口氏、山岡専務理事



自動車総連顧問議員に要望書を手渡す「考える会」メンバー。左から横山氏、桑山氏、坂口氏、磯崎哲史参議院議員、浜口誠参議院議員、山岡専務理事、金子氏

2020年度全国自動車会議所永年勤続者表彰式

全国4会議所から7名が参加

コロナ禍により3月開催を延期／昨年引き続きリモートで開催

日 本自動車会議所は11月9日、全国の自動車会議所職員を対象とした「2020年度全国自動車会議所永年勤続者表彰式」を、昨年に引き続きリモートで行った。同表彰式は3月に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期。今回は、神奈川、静岡、愛知、岐阜の全国4自動車会議所をオンライン接続し、受表彰者7名全員がリモート出席した。

当会議所の内山田竹志会長もリモートで出席し、「この度、当会議所は、550万人に上る自動車産業で働く人々に『ありがとう』と感謝を伝える場を作りたいとの気持ちから、表彰制度『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』を創設しました。日々の職場、現場をベースにしながら、自動車産業・文化の発展のため地道に活動に励まれている方々に光を当て、表彰を通じて同じような取り組みがさらに広が



表彰式の最後に受表彰者全員と関係者が記念撮影

っていく一助にしたいと思っています。地域の自動車業界で長く勤めておられる皆さまは、まさにこの賞の原点です。この機会に、改めて私から皆さまに『ありがとう』の言葉をお伝えしたいと思います」と述べ、受表彰者への感謝の気持ちを表した。

その後、表彰状が授与され、受表彰者を代表し下村理恵さん（愛知県自動車会議所）が、「この受表彰の一つの節目として、また新たな気持ちで業務に励んでいきたいと思っています。今年は、コロナウイルスの

影響により、一年遅れでオリンピック・パラリンピックが開催され、選手達から競技に対してひたむきに挑戦している姿を見せていただきました。私も変化していく業務にしっかりと対応しながら、後輩の方々の手本となれるように仕事と子育ての両立に奮闘していきたいと思っています」と謝辞を述べた。

その後、受彰者一人ひとりから現在の気持ちを述べていただき、受彰者全員と関係者らがオンライン画面上で記念撮影を行った。

◇2020年度全国自動車会議所永年勤続表彰受彰者は次の通り（順不同）。

- ・岡田 正弘さん（神奈川県自動車会議所）
- ・須田 政春さん（神奈川県自動車会議所）
- ・丑山 英輝さん（神奈川県自動車会議所）
- ・森 明美さん（静岡県自動車会議所）
- ・辻尾 明子さん（静岡県自動車会議所）
- ・下村 理恵さん（愛知県自動車会議所）
- ・朝田 和弘さん（岐阜県自動車会議所）



東京自動車三十年会記念碑法要

上野・不忍池弁天堂で執行
先達ら偲び業界発展を祈願

東 京・上野の不忍池弁天堂境内に建立された「東京自動車三十年（みそじ）会記念碑」法要が11月18日、同弁天堂で執り行われた。大正から昭和にかけて自動車の普及に努めた先人たちを慰霊し、その功績を称えた。参列した都内自動車関連業界の経営者ら約30人は故人を偲ぶとともに、それぞれが直面する課題の克服と業界のさらなる発展を祈願した＝写真＝。

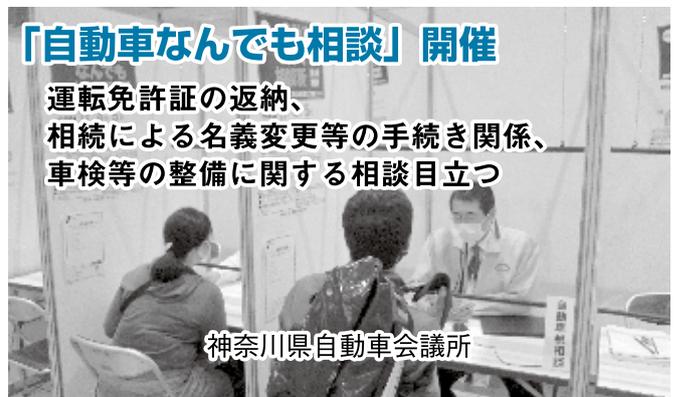
法要では、導師を務めた北岡興真・東叡山福聚院住職による読経が流れる中、参列者が焼香し滞りなく法要を終えた。その後、実行委員長の中川雅治・東京都自動車会議所会長（参議院議員）が「先達の偉業を偲びつつ先駆者たちの息吹を感じてほしい。厳しい状況が続くが、それぞれの方が自らの事業発展への思いを強めることが何よりも大切であり、この意味で本日の法要を日本の自動車産業の未来を築くためのきっかけとしていただければ幸いです」と挨拶した。

続いて、みそじ会代表世話人の中谷良平・安全自動車(株)会長が「内燃機関から電池へと劇的な動力変換の時代に移行しつつあるが、まだまだ大きな課題がある。これからの人が英知を見出して新たな道を切り開いてほしい。また、自然と調和した社会を創る必要がある。そこに自動車関連業界は大きな責務がある。皆さま方の力添えが不可欠だ。先人たちも願っていることと思う」と話した。

東京自動車みそじ会は、1953年に自動車関連業界の親睦団体として発足。その時点で自動車関連事業に30

年以上携わっていた人を会員としたので、この名がついた。発足当初のメンバーを顕彰する記念碑は1975年に建立。不忍池弁天堂境内に立つ石碑の中でも威光があり、行き交う人々の目を引く存在となっている。

〔東京都自動車会議所〕



「自動車なんでも相談」開催

運転免許証の返納、
相続による名義変更等の手続き関係、
車検等の整備に関する相談目立つ

神奈川県自動車会議所

神 奈川県自動車会議所は11月4日、5日の両日、横浜駅東口の新都市プラザ（横浜市西区）で新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で「自動車なんでも相談所」を開設し、自動車全般について無料で相談に応じる「自動車なんでも相談」を実施した。

この「自動車なんでも相談」は、関東運輸局神奈川運輸支局、神奈川県、横浜市消費者協会の後援を受け、昭和56年（1981年）から継続して実施。今回で44回目となり、関東運輸局神奈川運輸支局、神奈川県くらし安全防災局、神奈川県自動車税管理事務所をはじめ関係団体から派遣された相談員（延べ47名）と弁護士（2日目の午後のみ）が対応に当たった。

今年の相談件数は、昨年と比べて15件多い85件（うち電話相談は8件）。内訳は、登録手続き関係が28件、車検・整備関係が12件、車の売買関係が10件、道交法関係が8件、自動車税関係が7件、輸送関係が7件、事故・保険関係が2件、弁護士相談が1件、その他が10件となり、運転免許証の返納や、相続による名義変更等の手続き関係、車検等の整備に関する相談が目立った。

〔神奈川県自動車会議所〕